

第6次知多市総合計画（案）

概要版

第1章 計画策定に当たって

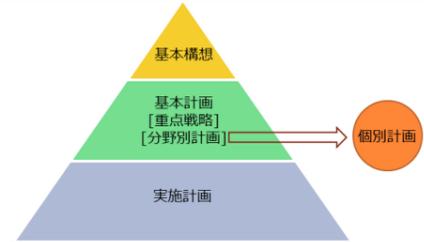
1 計画策定の趣旨

市制施行50周年という大きな節目を迎え、将来に向かって力強く着実に歩みを進めるため、新しい地域づくりの方向性を示すものとして策定します。

2 計画の位置付け

- (1) まちづくりに関わるすべての人が共有する公共計画
- (2) 市のあらゆる分野の最上位計画
- (3) 総合戦略を包含した計画
- (4) SDGsを推進する計画

3 計画の構成と期間



【計画期間】
令和2年度から令和11年度まで（10年間）
 ※基本計画は、社会情勢の変化、国・県の総合戦略の方向性などを勘案し、必要に応じて見直します。
 ※実施計画は、3年間の計画とし、毎年ローリング

4 計画策定の視点

- (1) バックカスティング
-
- (2) 市民参画
- 市民ワークショップ「未来にツナグ会議」での取組
 - 総合計画審議会での取組

第2章 計画策定の背景

1 知多市の特性

- (1) ひとの今
- ①市外に通勤・通学している人が6割以上
 - ②単独世帯・夫婦のみの世帯が約半数
 - ③自発的に行動する市民が多い
 - ④家族や友人と落ち着きある生活を楽しむ人が多い
 - ⑤生活圏は市域を超えて広がっている
 - ⑥健康づくりやスポーツに対する関心が高い
 - ⑦自然を魅力とを感じる一方、買物や外食に不便さ、物足りなさを感じている
- (2) まちの今
- ①名古屋駅から鉄道アクセス20分圏の住宅地
 - ②市域の3分の1を緑が占めており、海岸線を有する
 - ③雇用創出力のある産業が少ない
 - ④小売業の商品販売額が低水準

2 知多市を取り巻く社会情勢

(1) 人口・世帯数の推計

(2) 注目すべき社会情勢

- ①リニア中央新幹線の開業により、東京へのアクセス利便性が飛躍的に向上
- ②西知多道路の開通により、広域的な物流機能が向上
- ③名古屋市及び周辺地域へ訪れる外国人が大幅に増加
- ④30年以内に南海トラフ地震が発生する確率が70～80%
- ⑤国内全体の労働力不足を要因として、外国人人口が増加

リニア中央新幹線の開業により名古屋を起点とした120分交流圏人口は、東京-名古屋開業で約6,000万人に倍増する。大阪延伸は2045年の予定。

3 市民が期待する未来の知多市

- (1) 将来のまちづくりに活かすことができる資源
- 緑
 - 市民の人柄
 - 市民による活動
 - 歴史、伝統
 - 地理条件
 - 雰囲気、空気感
- (2) ありたい未来の知多市
- ①今の知多市の魅力を残したい
 - ②暮らしの質を高めたい
 - ③市民が集い交流を深めたい
 - ④市民が知多市を盛り上げたい
 - ⑤市民の希望をかなえたい

第3章 基本構想

1 理想の未来

(1) ひとの未来

- ①多様な背景を持つ誰もが、地域の一員としてつながり、お互いの信頼関係のもと、安心して暮らしている。
- ②地域活動、市民活動、文化活動などに関わる活発な市民が増え、いきいきと活動している。
- ③子どもから高齢者まで幅広い世代の人が、地域の多様な人との関わりの中から学び合い、高め合っている。
- ④地域への愛着と誇りを持ち、その魅力を伝え、共感する市民が増えている。
- ⑤自然と共生する落ち着いた暮らしを求める人、とりわけ子育て世帯が暮らしの場として選び、定住している。
- ⑥自分に合ったスポーツや健康づくりを行うことができ、健康寿命が延びている。

(2) まちの未来

- ①持続可能な整備とマネジメントにより土地の有効利用が進み、にぎわいが生まれるまちになっている。
- ②自然災害に強く、治安がよい、安全で安心できるまちになっている。
- ③高度な技術を活用した、交通や買物などの利便性の高いまちが形成されている。
- ④地域経済の活性化に資する企業が進出し、自然との調和を図りながら操業しているとともに、市内に起業しやすい環境が整備されている。
- ⑤豊かな緑や海、歴史、伝統、文化などの魅力が磨かれ、落ち着いた雰囲気は未来につながっており、観光などに広く活用されている。
- ⑥行政は、様々なまちづくりの主体と共に戦略的な地域経営を進めている。

2 まちづくりの基本的な考え方

- (1) 夢や希望に向かってチャレンジする
- (2) 地域全体で子どもを大切に育てる
- (3) 人やまちとのつながりを大切にする
- (4) 多様性を認め合う

3 将来像

あたらしく、知多らしく。梅香るわたしたちの緑園都市

まちづくりに関わるすべての人が、「理想の未来」を共有し、4つの「まちづくりの基本的な考え方」に沿って、同じ方向に向かい行動するため、この将来像を掲げます。

第4章 基本計画

1 「理想の未来」の実現イメージ

「理想の未来」が実現されているときの、市民の暮らしやまちの状態を、具体的に例示します。

2 人口の将来展望

令和42(2060)年に人口70,000人程度を確保することをめざして、各種施策に取り組むこととします。

3 重点戦略

基本目標	政策	主な施策
1 ひとづくり	1 子育てしやすい地域づくり	1 切れ目のない子育て支援 2 幼児教育・保育の充実 3 放課後の子どもの居場所づくり 4 障がい児支援
	2 次代の担い手を育む教育環境づくり	1 教育力の向上 2 教育環境の整備 3 特別な支援を要する児童・生徒への学習支援
	3 市民協働によるまちづくり	1 市民協働の推進 2 地域活動の支援 3 まちづくりの担い手育成
	4 学びを楽しむまちづくり	1 生涯学習機会の充実 2 学びの場の創出 3 伝統文化の継承
	5 多様性を認め合うまちづくり	1 男女共同参画の推進 2 多文化共生の推進
2 あんしんづくり	1 共に支え合う地域づくり	1 地域福祉活動の推進 2 障がいのある人の自立支援 3 高齢者の生活支援 4 高齢者の社会参加の支援 5 介護予防の推進 6 認知症対策の推進
	2 一人ひとりに応じた支援を受けられる体制づくり	1 困難を抱えた子どもや家庭への支援 2 生活に困窮する人への支援 3 福祉医療制度の適正な運営
	3 暮らしを支える地域公共交通ネットワークづくり	1 地域公共交通ネットワークの構築 2 地域公共交通の利用促進
	4 災害に強く、安全に暮らすことができるまちづくり	1 地域の防災・減災力の向上 2 住宅などの耐震化の促進 3 地域の防犯力の向上 4 交通安全対策 5 消防・救急体制の充実 6 火災予防の啓発
	5 生涯を通じた健康づくり	1 生活習慣病の予防 2 地域での健康づくり 3 健康増進施設を活用した健康づくり 4 安心して受診できる地域医療体制 5 スポーツを楽しむ機会の提供 6 スポーツ施設の充実
3 にぎわいづくり	1 にぎわいの拠点づくり	1 朝倉駅周辺整備事業によるにぎわいの創出 2 コンパクト・プラス・ネットワークの推進 3 商工業の振興
	2 新たなしごとの場づくり	1 商工業用地の創出 2 雇用・就労の促進
	3 緑と花に包まれた住環境づくり	1 新たな市街地の整備 2 花いっぱい運動の推進 3 公園整備と適正管理 4 公園・緑地の活用 5 空家対策
	4 新たなチャレンジを創出するまちづくり	1 若者のチャレンジ支援 2 創業の支援
	5 観光に活かすことができる魅力づくり	1 観光資源の発掘、磨き上げ 2 観光情報の発信 3 観光客おもてなし環境の整備

4 分野別計画

- (1) 子ども・若者
- (2) 学校教育
- (3) 文化
- (4) 地域福祉
- (5) 高齢者福祉
- (6) 地域公共交通
- (7) 防災・安全
- (8) 消防・救急
- (9) 健康
- (10) スポーツ
- (11) 市街地整備
- (12) 商工業
- (13) 農業
- (14) 公園・緑地
- (15) 都市基盤
- (16) 環境
- (17) 上下水道
- (18) 観光
- (19) 広報
- (20) 行財政運営

第5章 計画の実現に向けて

1 連携・協働の方針

- (1) 地域活動、市民活動の推進
- (2) 官民連携
- (3) 自治体間連携

2 計画の進行管理

- (1) 定量評価・定性評価
- (2) 外部評価